

東由利町報

号外 昭和49年(1974)6月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(1部20円)昭和42年7月21日第3種郵便物認可

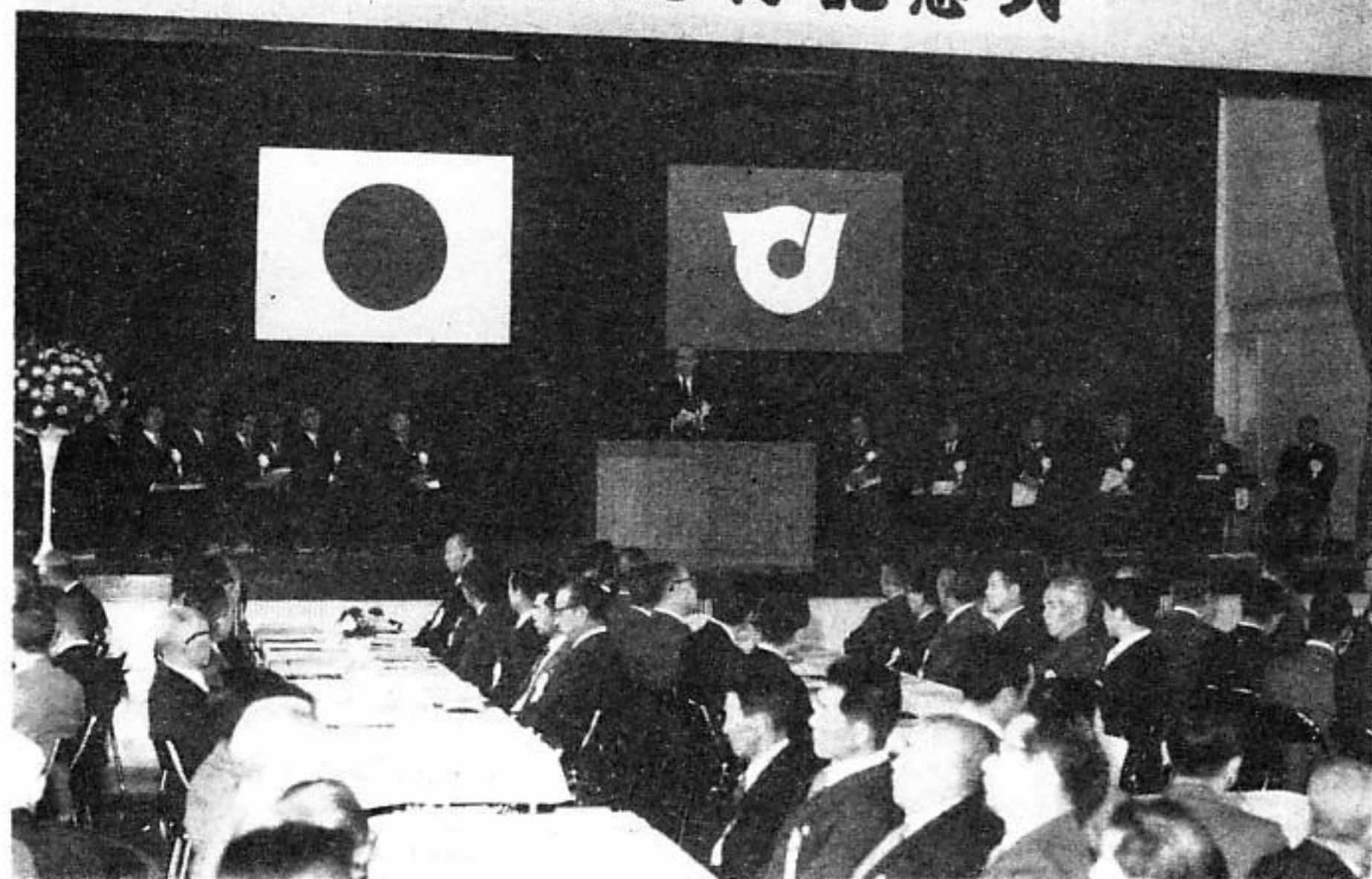
時間を守ろう
集会や会議の時刻に遅れないように気をつけましょう。主催側も準備に万全を期し予定どおり始める習慣をつけましょう。

県庁電話各課へ直通

六月一日から県庁の電話は各課、係へ直通になります。新番号簿ができるまで問い合せは秋田24-11331へ。

全町民の熱意で立派な花を

祝町制施行記念式



町内外から500人余が出席・喜びの中に行なわれた式典風景

郷土の将来に満々たる自信を

五月四日、東由利中学校で行なわれた町制記念式において、本町の将来性には大きな期待がもてる。町制施行を機に郷土のよさを今一度認識し町民の盛り上がる熱意で協力一致、自信と誇りをもってたくましく前進されたいと力強く激励をされた小畑勇二郎秋田県知事の祝辞を、録音の再生をもとに紹介してみます。

ご当町 ました町制を施行、新たな発展に向けて存じます。は去る四月一日に、長い間この日を待ち望んでおられました町民の皆様に対し心からお祝いを申先般私は、魁新聞で、町制

行を機にまず住民の心から地域のイメージを取り去り、活気ある町づくりのため町民が一体となって盛り上がるべきです。とす小松新町長さんの談話を拝見いたしました。町制移行を機に町民の意欲が高まることに非常に期待をかけておられるわけでありまして、これには私もまったく同感であります。

若人の活躍に期待

若人、私たちがご当町に非常な期待をもちます。これは、最大の施策として全国に初めて推進いたしております。まず集落農場化事業に若者が先頭になって活躍されていることとあります。

その一端をいまして上げます。まず農業についてであります。ご当町は土地改良について非常に熱心でありまして、ご当町より県単の土地改良が多く、また本年度から四百分の県営圃場整備事業を実施いたします。これは四十九年度に着手いたしました五十二年度には完成を見たい予定であり、これができますと当町の圃場整備率は現在の四十六割から八十割になるものでありまして全県の市町村で最も高い率になるのであります。

肉牛の主産地に

畜産であります。阿部村長さん時代、昭和三十三年に乳ジャージーを導入されましてそれが定着いたしております。

入会林の近代化

県植樹祭で表彰

林業については民有林の面積が一万四千五百ヘクタールあります。このうち四十五割が入会林野であります。先般の大曲市における全県植樹祭の席でも表彰を申し上げたとおり、この入会林野の近代化に非常に積極的に取り組んでいただいております。この五年間に一千ヘクタールの造林をされておられるのであります。

国道道率は全県一

出羽丘陵縦貫道 本町で交差

従って、このように考えますと、農業、林業発展地域の全県どこよりも、最も大きな可能性を持っている町であること、こう考えることができると考えております。

環境整備に感心

しかし、ただいまも議長さんからお話しがありました。あらゆるものは道路が基本でありまして、私どもは出羽丘陵開発の基本構想をこの三月に樹てたのでありますが、東山利・大内・雄和・秋田市を結ぶところの出羽丘陵縦貫道路の建設を計画いたしております。

この路線は、国道百七号線と本町で交差する予定であり、ご当町はまだ整備されてお

りませんが、国道道の密度の高いことは県内一でございます。これを完全に整備するならば、住民の皆様の生活の利益は期して俟つべきものがあると考えております。

また、生活環境の整備で私が非常に感心いたしておりますことは、四十六年から四十八年度の間、大規模な簡易水道を、一億三千九百万円の予算をもって立派に完成させていることでもあります。

さらに四十九年は宿地区、五十年は法内地区の計画をしておりますが、これを完成させると給水人口の率は八十割

も二カ所ございます。今年も老人いこいの家を五十七万円の予算で老方地区に建てられるという計画であります。これに對しまして、上げたいと存じます。

克雪センター内定

なおまた、今年と来年で法内地区に克雪管理センターを建設することがすでに内定いたしております。

このように考えますと、生活環境の整備についても社会福祉についても、どこの町村にも劣らない脱却政治が行なわれていくわけでありませ

八塩 広域視野で援助

また、環境レクリエーションの整備といたしまして、私どもは町のシンボルでありまして、八塩の八塩山とそのふもとに抱かれております八塩ダムの活用に非常に期待いたしております。

このダムは、県営事業として二億五千万円の巨費を投じて完成いたしました。皆様の手で一千本の桜と五百本のツツジを植えていただいておりますので、私は広域圏由利本荘地区のいこいの森としてこれを一層援助いたしまして立派に完成させたい。かように考えております。

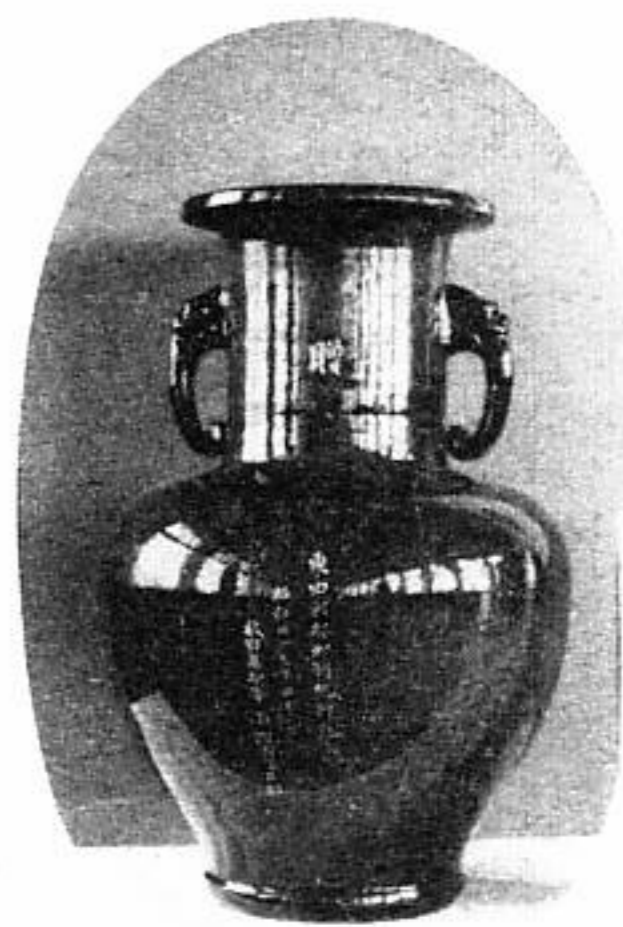
教育文化の面でありまして、非常に感心をいたしております。すことは、日本の音楽界で有名な小松三兄弟をこの町から

美しい山河自然

期待できる将来性

私はご当町の水と伝統、この美しい山河・自然の中には、こうした文化の遺産を生むところの条件が整っているのではないかと、そう考え、期待をいたしております。

幸い東由利町の基本構想には教育文化の振興が強くうたわれておりますし、現に、こ



県から寄贈された大花瓶
直径45cm 高さ65cm

のような統合中学を整備して、いるところは全県を見渡して、も珍らしいのであります。

また、その人を置いて恐縮ではあります。この小松町長さんが非常に学究的であり、合理的に町政を進められておられることに、私は常に感心いたしております。

このように、あらゆる角度から考えてみますと、この新しい東由利町の前途には、本町に期して俟つべき将来性がある。と考えられるのであります。

しかし、どんなに条件が整いまして、町民の皆様が一致協力してこれを盛り立てるといふ、いわゆる熱意がないと立派な町の花は咲きません。ここで私は、余談になるかも知れませんが、一つの非常に感銘して来たことを申し上げます。

私は昭和三十三年、沖繩にまいりまして遺族の皆様とともにあの摩文仁の丘に、千秋の塔という慰霊碑を建ててまいりました。

その際、二日ほど沖繩を案内していただいたわけであり、ますが、その時案内してくだ

さった方が最後に「あなたにぜひお目にかけてあげたいものがある」として、私を伊波普猷という、あの地方の文化の恩人の彰徳碑に案内してくださいました。

伊波普猷という方は沖繩の出身者として始めて東大の文学部を卒業された文学者で沖繩の文化の交流に非常に尽力された方でありませ

その人の墓地にまゐりますと、一枚の御影石の碑が建っており、教行の文字が記されております。

知るが故に愛す

愛するが故に憂う

それは、彼ほど沖繩を知った者はない。彼ほど沖繩を愛した者はない。彼ほど沖繩を憂いた者はない。知るがゆえに愛し、愛するがゆえに憂いた。……そう書いてあります。

私はその数行の文字に非常に感銘いたし、何よりのおみやげが出来たと思ひまして、以来、心に刻んでおられるわけでありませ

をやらせていただきましたが、何にも要りませんから、県民の誰かから、彼ほど秋田を知り、彼ほど秋田を愛し、彼ほど秋田を憂いた者はない。……と書いていただければ本望だ。……と書いてあります。

郷土を再認識し 自信と誇りを持つ

そこで最後にお願ひ申し上げます。私がこの東由利の発足をお祝いするということは、単なる部分的だけからではなく、いままでも申し上げました数々の要素からいたしまして、本町に将来性のある町、期待の抱ける町である。と、そう考えておるからであります。

自分のことは良くわかって、……と、町民の皆様は思っておられるかも知れませぬが、どうぞ、町制を施行された機会にもう一度改めて自分たちの郷土をふりかえっていただきたいと思ひます。そして、祖先が身につまされる努力で守り育てて来られたこの美しい山河・自然、そして色々な将来性の要素をい一度改めて十分認識していただき、自信と誇りをもって協力一致、町の推進にご尽力たまりますよう切に願ひいたしまして、お祝ひのごあいさつといたします。



祝辞をのべる小畑秋田県知事